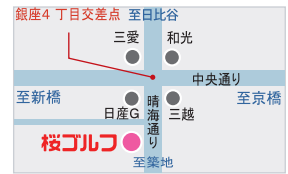


株式会社 桜ゴルフ
東京都中央区銀座5-9-1 銀座コティビル3階
(銀座4丁目交差点より1分)
銀座本店 伊勢丹新宿店 そごう千葉店

【お問い合わせは】

0120-83-5021
本社営業部 03-3572-8511
伊勢丹新宿店 03-3358-9181
<https://www.sakuragolf.co.jp>



21年7月の価格帯別相場推移(関東圏)

(名変諸費用含む、%)

価格帯	1~6月	7月						年初比
		1週	2週	3週	4週	5週	月間	
1000万円以上	0.5	▲0.2	▲0.1	0.0	0.3	▲0.4	▲0.3	0.2
500万円以上	5.0	1.1	0.6	0.9	1.0	0.8	4.5	9.7
300万円以上	13.5	1.1	1.1	0.3	1.5	0.8	4.9	19.1
150万円以上	7.5	0.8	0.6	0.6	0.8	0.6	3.5	11.2
70万円以上	5.5	▲0.2	0.9	0.0	0.7	0.2	1.5	7.1
70万円未満	3.1	0.9	0.2	0.2	0.3	▲0.2	1.4	4.5
平均	3.9	0.4	0.3	0.3	0.7	0.2	1.9	5.8

夏相場は順調に滑り出す
個人のクラスアップ志向目立つ
例年、夏季休暇を迎える7
月、8月は会員権の購買意欲が
薄れて相場が停滞する傾向が



残暑お見舞い申し上げます
佐川 八重子

~7月相場のポイント~

- 7月の平均相場は1.9%伸び、年初比+5.8%まで伸ばす
- 買い注文は売りの1.2倍と、買い先行の供給状態が続く
- 優良中堅・名門の集まる価格帯が相場を牽引
- 根強い個人のホームコースのクラスアップ志向目立つ

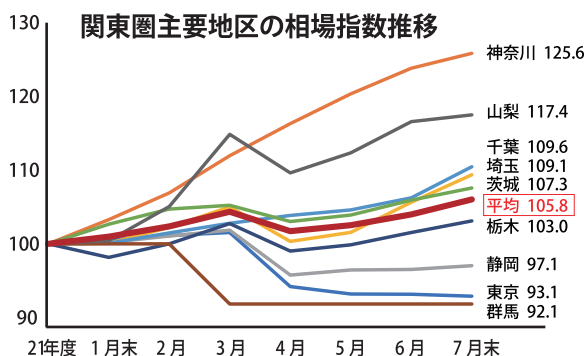
活発な銘柄：府中、レインボー、平塚富士見、日高、総武、千葉

強弱分かれる関東圏主要地区の相場

- 神奈川 (+26%)、山梨 (+17%) が大きな伸び
- 神奈川：諸費用軽減の高額銘柄、山梨：近隣リゾートが牽引
- 千葉・埼玉・茨城は平均を上回る堅調な推移
- 東京・静岡・群馬は年初水準を下回り苦戦

名変諸費用を含む価格帯別では300万円以上の伸びが4.9%と最も高く、前後の価格帯でも高い伸びとなりました。優良中堅や名門・準名門コースが集まる価格帯の伸びが顕著で、個人にみられるホームコースのグレードアップ志向が拡がっています。

みられますが、今年は相場続伸で始まり、順調に推移しています。7月の関東圏平均相場は前月比+1.9%となり、年初比では+5.8%まで伸ばしました。7月には、4回目の緊急事態宣言が発令され依然として重苦しい雰囲気から抜け出せません。ただし、買いが先行する需給状態は変わらず、当社が受けた7月の買い注文は売りの1.2倍にのぼりました。3~4月の勢いとまではありませんが、会員権需要はまだ健在と言えます。



反面、東京・静岡・群馬は平均を下回り、年初の水準を割込むなど苦戦を強いられています。東京は値上がりしが府中・東京国際など一部のコースに止まり、その他の地区は遠隔イメージが響いているようです。

好調なのは神奈川と山梨で、それぞれ年初比で26%、17%の大幅な値上がりとなりました。神奈川は年会費の安い磯子や、入会諸費用を軽減した戸塚・相模原といった高額コースが牽引し、山梨はコロナ禍でのワーケーションの広がりを映して、河口湖などの首都圏に隣接するリゾートコースの値上がりが寄与しました。次いで平均相場前後を維持したのが千葉・埼玉・茨城・栃木となりました。

強弱分かれる関東圏主要地区の相場

21年上期の買い注文トップ50 (正会員)

*名変諸費用含む

150万円未満	150~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000万円以上
① 穴戸ヒルズ ② 上野原 ③ 姉ヶ崎 ④ 江戸崎 ⑤ 大多喜城 ⑥ 本千葉 ⑦ 赤羽 ⑧ 利根パーク	① 立川国際 ② 高坂 ③ 長竹 ④ 鎌倉 ⑤ 河口湖 ⑥ 清川 ⑦ 常陽 ⑧ 富士小山 ⑨ チェックメイト ⑩ 成田ヒルズ ⑪ 富士レイク ⑫ 飯能グリーン ⑬ PGM総成 ⑭ 佐倉 ⑮ 小山	① 鳩山 ② 東松山 ③ レインボー ④ 南総 ⑤ 東京国際 ⑥ 総武 ⑦ 日高 ⑧ 日光 ⑨ 藤ヶ谷 ⑩ メイプルポイント ⑪ 成田ゴルフ	① 千葉 ② 平塚富士見 ③ 葉山国際 ④ 本厚木 ⑤ 多摩 ⑥ 箱根 ⑦ 袖ヶ浦(共) ⑧ 八王子 ⑨ キングフィールズ ⑩ 大浅間 ⑪ 狭山 ⑫ 茨城	① 横浜 ② 府中 ③ 相模原 ④ 戸塚 ⑤ 武蔵CC ⑥ 東京よみうり ⑦ 厚木国際 ⑧ 桜ヶ丘

● 株主会員制 □ 間接株主制

今年上期の人気上位銘柄

- 総額150~300万未満と300~500万未満の優良中堅がトップ50の約半数占める。安定した個人の需要が中心
- 1位はトーナメント開催の穴戸ヒルズ、2位は都心隣接の上野原、3位は都内立地の立川国際で不動の高人気
- 10位以内の8コースが300万未満、名門は千葉のみランクイン
- ワーケーションによりリゾートにも買いが集まる